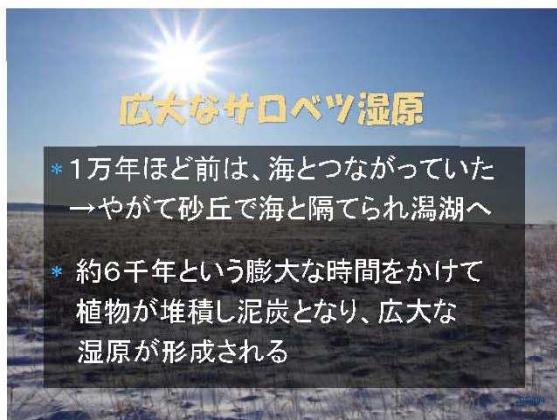


9.1 環境学習用資料(事前学習用)



広大なサロベツ湿原	
* 北海道内で?番目に大きな湿原	
1位:釧路湿原	18,290ha
2位:別寒辺牛湿原	8,300ha
3位:サロベツ湿原	6,700ha
※そのうち、562haが高層湿原	
→ 低地における日本最大の高層湿原！	

サロベツ湿原の生きもの



➤タテヤマリンドウ



➤ヒメシャクナゲ



➤トキソウ

➤高山植物が平地で見られる（寒冷で水分が多く、貧栄養）
➤植物は550種以上（シダ・コケ類含む）

2020/4

サロベツ湿原の生きもの

北海道の動物の多くはサロベツでも見られる

*鳥類 180種以上

*哺乳類 27種



オジロワシ



エゾモモンガ

2020/4

サロベツ湿原の価値

1974年 利尻礼文サロベツ国立公園指定
2005年 ラムサール条約湿地登録



- ・生物多様性に富んだ豊かな自然環境
- ・近年は炭素の貯蔵庫としても注目

→将来に渡り、残していくなければならない
世界的な財産！

2020/4

サロベツ湿原の変遷



かつての湿原面積は
14,000ha (1947年)
減少 6,700ha (1999年)



6,000年の積み重ねがわずか50年で半分以下に…

2020/4

サロベツ湿原の変遷



かつての湿原 (1956年)



■ 畠地・果樹園等(=牧草地) 37%
■ 荒地等(=ササ原) 23%
■ その他(=泥炭採掘地) 2%

(1998年)

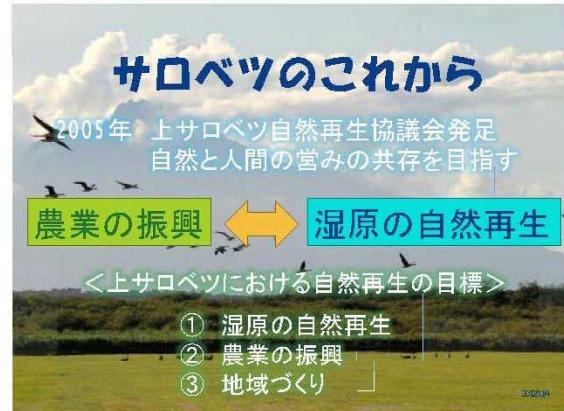
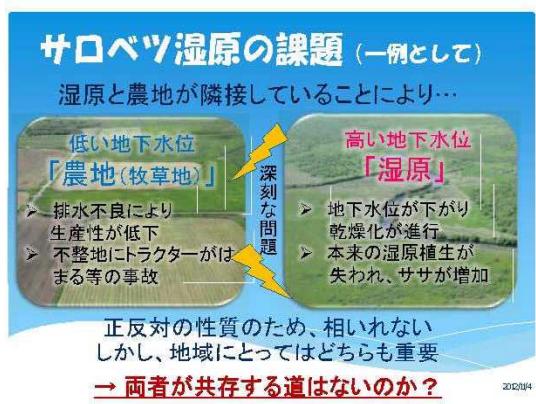
2020/4

サロベツ湿原の変遷

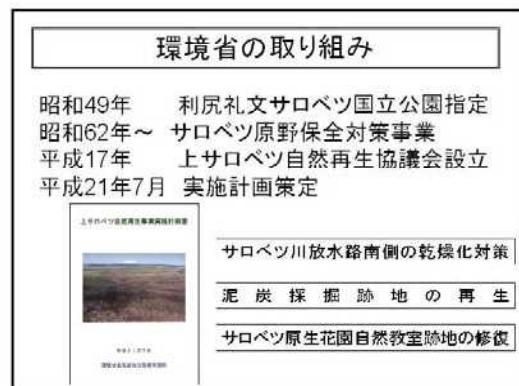
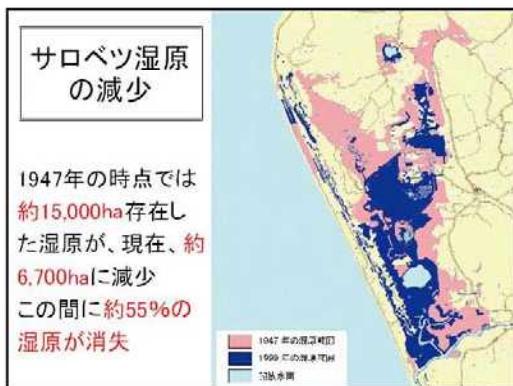
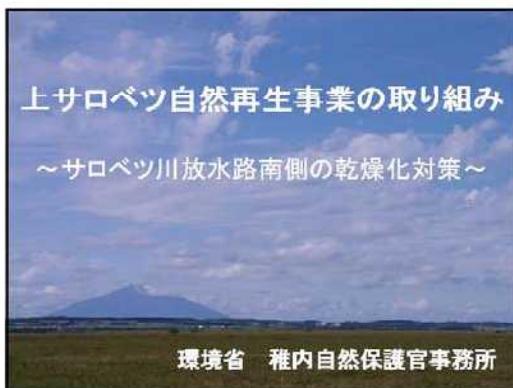
一方、開拓によって『道内有数の酪農地帯』へ

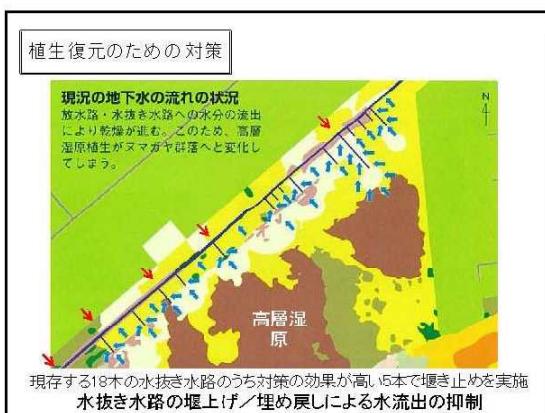
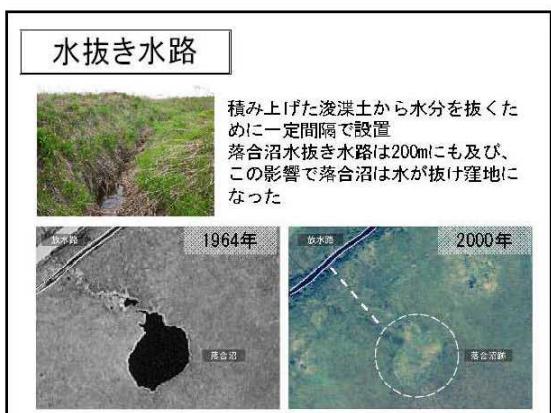
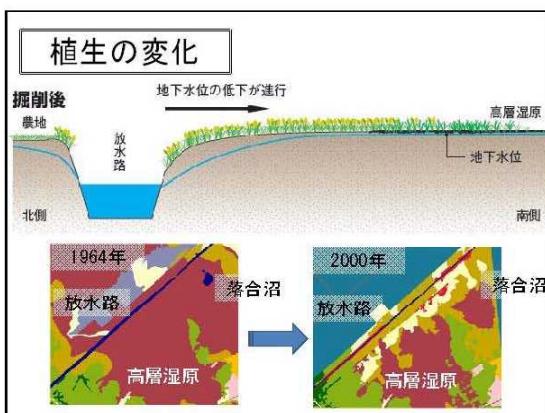
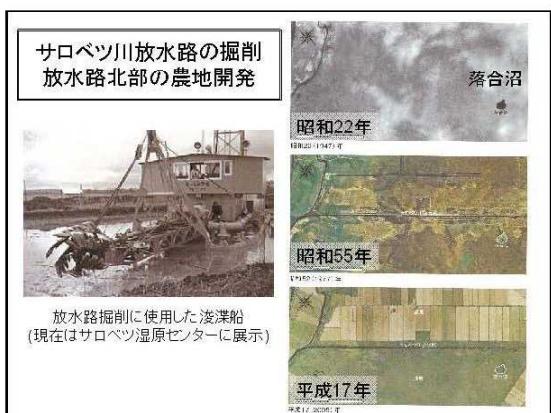


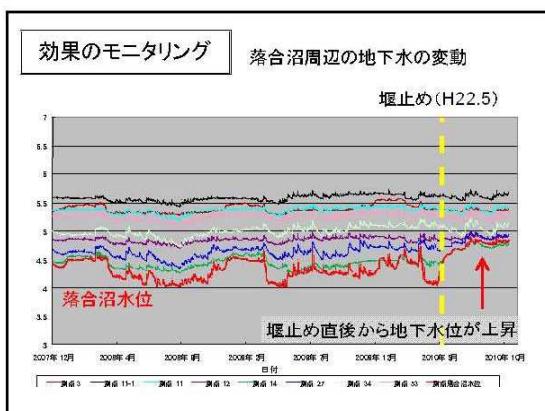
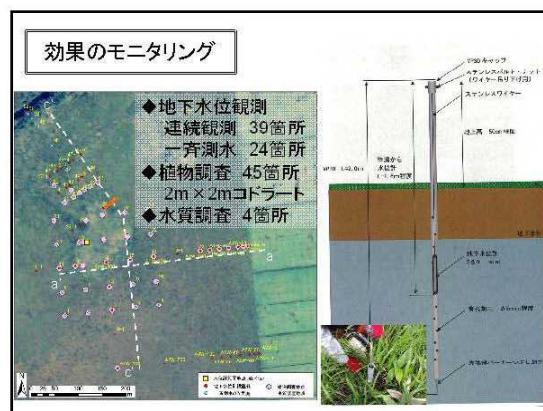
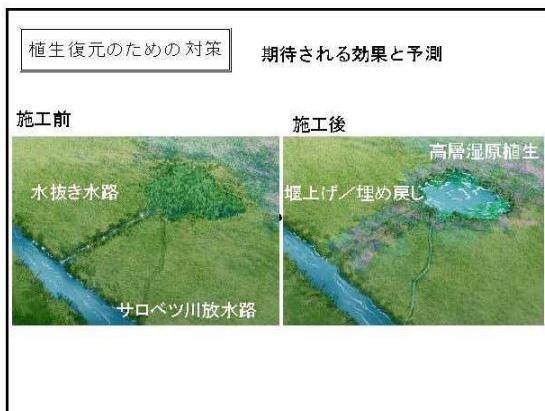
2020/4



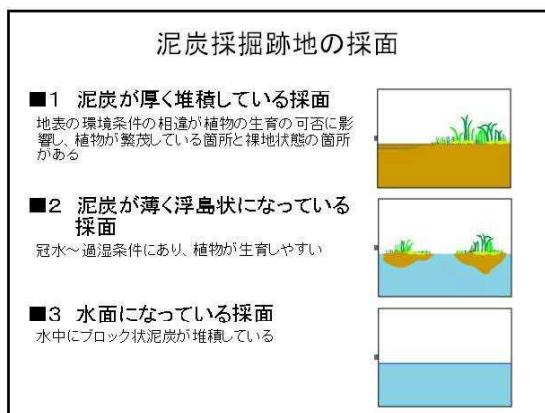
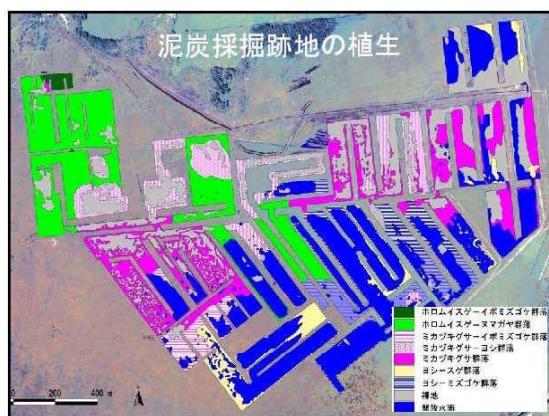
環境学習用資料(事前学習用・環境省提供・サロベツ放水路南側)







環境学習用資料(事前学習用・環境省提供・泥炭採掘跡地)



裸地部表層の環境条件－土壤水分－



表層の剥離
発芽後に枯死したと思われる幼植物の遺体がみられる

剥がれた表層に生育していた幼植物

乾燥すると表層が剥がれる

裸地部表層の環境条件－浸食・堆積－



たまつた水は、早いスピードで引いてく
(手前に見えるのが、流出時の水みち跡)

降雨後の流水によって倒れたと思われる幼植物

降雨後は水が流れ表層が攪乱される

再生手法

2つの手法の組合せにより最適な手法を検討

再生手法	内容
ネットの設置	生育している植物の生育を妨げずに新たな種子を捕捉することをねらう 【目合い3パターン】 15cm、3~5cm、2cm
溝の造成	多様な水分条件を創出することにより植物の定着を促進することをねらう 【深さ2パターン】 20cm、10cm

試験区の状況

ネット:(目合い3~5cm)

施工前	施工直後
	
2011.10.26	2011.10.27

試験区の状況

溝:(深さ20cm)

施工前	施工直後
	
2011.10.26	2011.10.27

試験区の状況

ネット:(目合い15cm) + 溝:(深さ20cm)

施工前	施工直後
	
2011.10.26	2011.10.27

環境学習用資料(事前学習用・環境省提供・サロベツ原生花園跡地)





昭和61年 原生花園自然教室整備



平成元年 駐車場整備
平成7年 公衆トイレ再整備



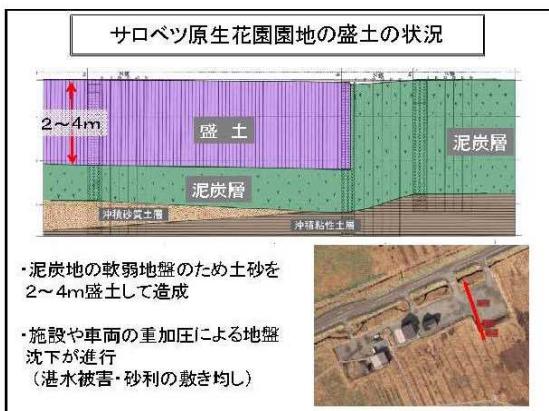
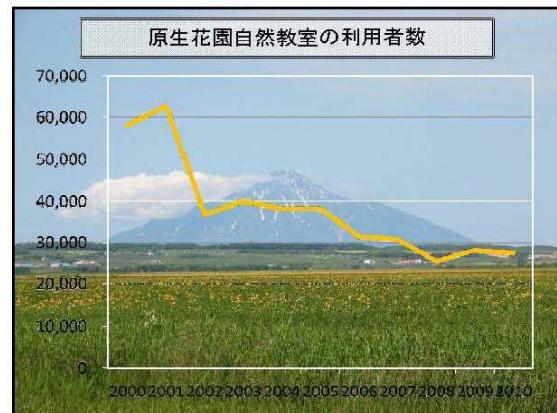
平成8年

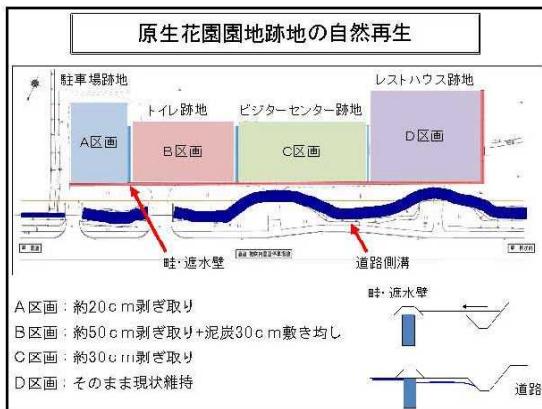
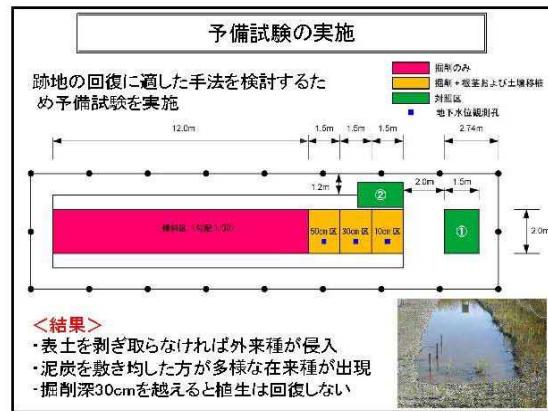


平成8年



平成10年 木道の改良





自然再生事業マップ(サロベツ放水路南側) H23 年度製作



自然再生事業とは
過去に損なわれた自然環境を取り戻すため、開拓開墾地、地盤改良、N.P.O.、専門家などとの地域の多様な主体が参加して、自然環境の保全、再生、創出等を行うことを目的としています。

【具体的な事業】
・自然化された河川における干涸の再生や森づくりなど
・海岸地帯における海岸の再生や森づくりなど

上サロベツにおける自然再生の取組み

がつては約15,000haをもどしたサロベツ干潟問題は、開拓前年代後半の大規模開拓によって減少し、今では約2,200ha以下の面積を抱えています。また、残されはる面積も乾燥化による影響を受けています。具体的には、
・資源の活用及び情報発信を行っています。
・「上サロベツ自然再生事業実験・面談」に基づいて以下の事業に取組んでいます。



サロベツ川放水路南側温原周辺では
次のことを目指しています

サロベツ川放水路南側温原周辺では、地下水位が常に海面と並んでいたために、温原の生態系が危機的状況になってしまった。そこで、温原の生態系を回復するため、温原の水位を下げる工事を実施しました。

■回復のメカニズム

地下水位は高く安らいだ、温原の生態系が分布していた

サロベツ川放水路周辺では、放水路の開削により地下水

水が放出されるようになり、温原の底水位の低下が生

じました。かつてはミズコケやシモモ等が主に生

育する高湿地帯でしたのが、乾燥化によってササ

やスマガヤガが生息しやすくなり生态系が変化しま

した。

地下水位は常に海面と並んでいた

サロベツ川放水路周辺では、温原の生態系が分布して

いた。しかし、放水路の開削により地下水位が下が

り、温原の生態系が回復することができました。

温原の生態系が回復するためには、温原の水位を下

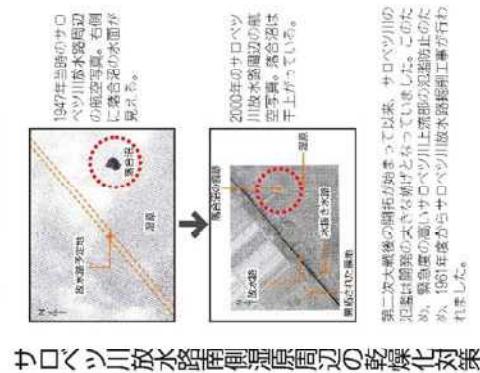
げる工事が実施されました。

温原の水位を下げる工事は、温原の水位を下げる

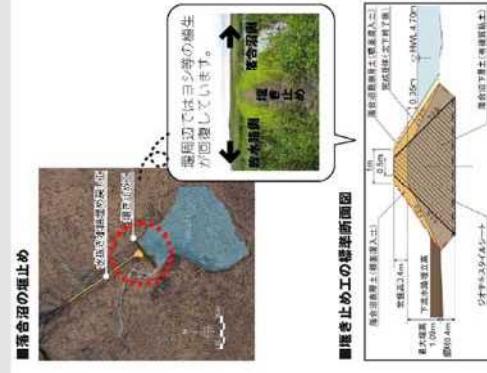
ため、温原の水位を下げる工事は、温原の水位を下

げる工事は、温原の水位を下げる工事は、温原の水位を下

サロベツ川放水路南側温原周辺の乾燥化对策



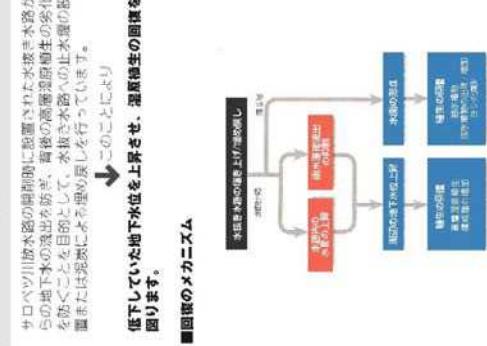
次のこと取り組んでいます-2



次のこと取り組んでいます-1



サロベツ川放水路南側温原周辺では



自然再生事業マップ(泥炭採掘跡地) H23年度製作



自然再生事業とは

過去に損なわれた自然環境を取り戻すため、関係団体、地域住民、NPO、専門家などの地域の多くが主体を参加して、自然環境の保全、再生、調査等を行うことを目的としています。

【具体的な事業】

・自然化されたばかりの開拓地による問題の監視
・海岸地帯における海岸の再生や森づくりなど

上サロベツにおける自然再生の取組み

環境省の取組み

かつては約15,000haに及ぶサロベツ原野は、昭和60年代後半の大規模開拓により減少し、多くは5ha未満以下の約7,000haとなっています。また、残された湿地が保全などを目的としています。

【具体的な事業】

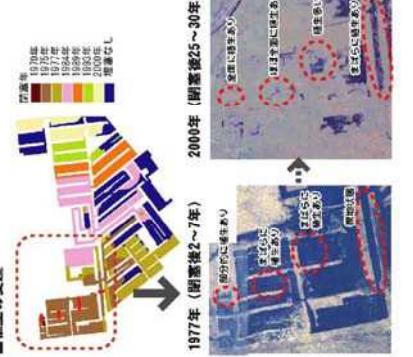
・自然化されたばかりの開拓地による問題の監視
・海岸地帯における海岸の再生や森づくりなど



泥炭採掘跡地では次のこととが問題になっています

泥炭採掘跡地では、依然として植生が定着しない場所（裸地）が見られます。

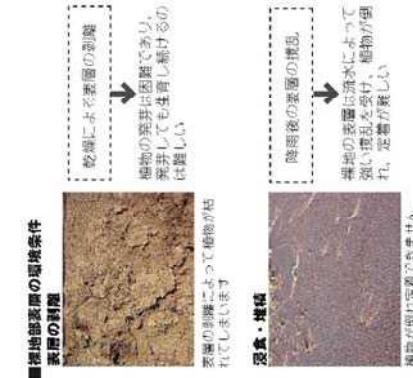
■植生の変遷



泥炭採掘跡地では次のこととを目指しています

泥炭採掘跡地において、降雨による浸食や乾燥による剥離などが発生する事により、植物が定着を促します。

■泥炭地部表面の環境条件

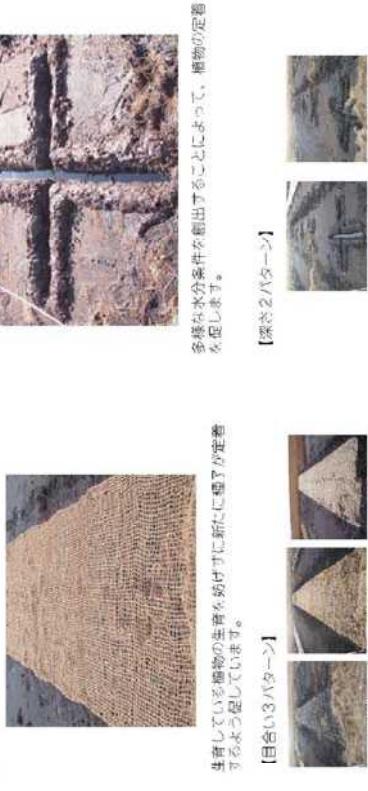


泥炭採掘跡地等の再生 次のこととに取り組んでいます-1

泥炭の防護や表土の保護

マルチングによる表土の保護や溝の造成を行い、乾燥化の防止と表土の保全を行っています。

⑤ネットの設置アーリチングによる表土の保護



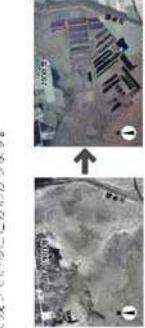
泥炭採掘跡地等の再生 次のこととに取り組んでいます-2

泥炭の造成・乾燥化の防止
を実現することによって水が溜まることなく、乾燥を防ぐことができます。



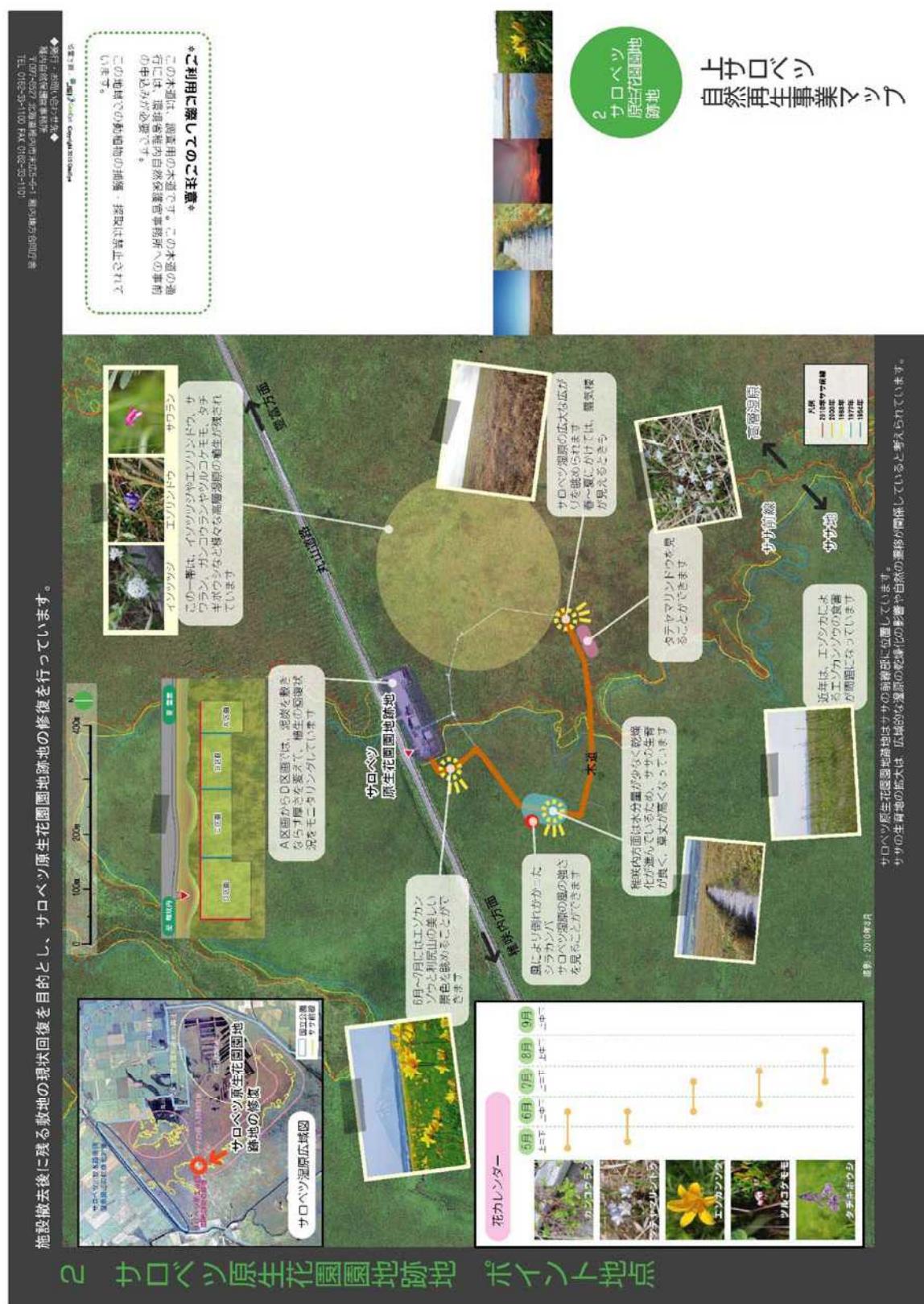
泥炭採掘跡地の歴史

泥炭には、土壤改良剤、膨張剤、燃料など様々な工業的利用価値があります。サロベツでは、これらの価値が注目され、昭和58年（1983年）から平成14年（2002年）まで円山開拓で泥炭採掘が行われました。泥炭採掘は最初の生産で高層湿原を中心とした大きな泥炭圃場になりました。これは、泥炭開拓地の位置関係図に示す通りです。泥炭圃場の約95%が開拓水面などで現在でも丸山開拓地の泥炭採掘跡が開拓水面などで残っていることがあります。



*泥炭生産地

自然再生事業マップ(サロベツ原生花園跡地) H23年度製作



自然再生事業とは

過去に損なわれた自然環境を取り戻すため、回復措置、地域住民、NPO、専門家などの団体が参加して、自然環境の保全・再生、調査等を行うことを目としています。

【具体的な取り組み】

・自然化された河川の水質回復による河原の再生
・海岸地帯における干潟の再生による河原の再生
・海岸地帯における干潟の再生による河原の再生

上サロベツにおける自然再生の取組み

かつては約15,000haに及ぶいたサロベツ湿原は、昭和時代後半の大規模開拓により減少し、今ではがかつての半分以下の面積を残しています。また、残された面積も乾燥化などによる影響を受けています。



サロベツ原生花園地跡地では次のことなどを目指しています

■植土及び施設の建設により泥炭地が消滅
・盛土による排水低下と過剰耕作への排水により、泥炭の乾燥化と植生の変化が発生
これらが組み合わされることによって、本来ある高層湿原再生の面積が減少しています。

サロベツ原生花園地跡地では次のことなどを目指しています

■モニタリングの実績
A区画からD区画では、泥炭の厚さをモニタリングしています。
○過去前
●現在後
●泥炭の厚さが薄くなっています。

■泥炭再生のメカニズム



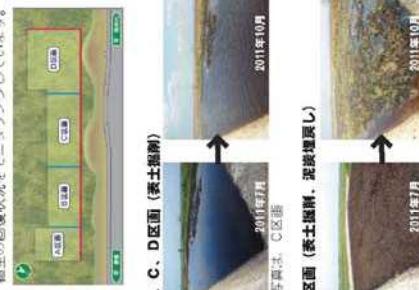
サロベツ原生花園地跡地の修復

この場所にかつてあった「サロベツ原生花園地跡地」は昭和50年から本格化され、多くの人々が活動してきました。しかし、湿原の上位に堆積された泥炭の乾燥化を防ぐために、施設の設置など周辺の自然環境への影響を考慮していました。このため、平成23年3月に「サロベツ原生花園自然教室」の機能を「サロベツ原生花園地跡地」に移転し、施設を撤去しました。



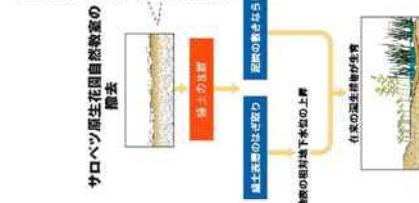
次のこととに取組んでいます-2-

■モニタリングの実績
A区画からD区画では、泥炭の厚さをモニタリングしています。
○過去前
●現在後
●泥炭の厚さが薄くなっています。



次のこととに取組んでいます-1-

■モニタリングの実績
堆積の廃棄地では、表土をはぎ取って泥炭を散布せながら、廃棄の廃棄地にて、泥炭の厚さを変えています。



9.2 環境学習ツアーに関するアンケート用紙

サロベツ環境学習ツアーに関するアンケート

第1回
9/30

本日は、「サロベツ環境学習ツアー」にご参加いただき、ありがとうございます。
今後のサロベツ自然再生の取組や検討にみなさまのご意見を活かしていくため、アンケートにご協力ください。

■「サロベツ環境学習ツアー」について（あてはまるものに○をつけて下さい）

問1 あはたは、本日の「サロベツ環境学習ツアー」について、何で知りましたか？

- ①チラシ・ポスター ②新聞 ③知人・友人から ④メーリングリスト ⑤ホームページ
⑥その他（ ）

問2 本日の「サロベツ環境学習ツアー」で、興味をひいたものは何ですか？【複数回答可】

- ①落合沼 ②サロベツ川放水路・水抜き水路 ③緩衝帯 ④湿原の自然や景観（利尻山など）
⑤その他（ ）

問3 「サロベツ環境学習ツアー」に参加して、サロベツ自然再生事業についてわかりましたか？【一つだけ】

- ①よくわかった ②わかった ③どちらともいえない ④わからなかった

問4 「サロベツ環境学習ツアー」の実施時間はいかがでしたか？【一つだけ】

- ①長い ②やや長い ③ちょうどよい ④やや短い ⑤短い

問5 「サロベツ環境学習ツアー」でのガイドの説明はわかりやすかったですか？【一つだけ】

- ①とてもわかりやすかった ②わかりやすかった ③どちらともいえない ④わかりにくかった

問6 今後もこのような自然再生ツアーがあった場合、参加したいと思いますか？【一つだけ】

- ①ぜひ参加したい ②都合がつけば参加したい ③あまり参加したくない ④参加したくない ⑤わからない

問7 上記の問6で、あなたがそのように回答した理由はなぜですか？

自由記述（ ）

■サロベツ自然再生事業について

問8 サロベツ自然再生事業への関心は高まりましたか？【一つだけ】

- ①高まった ②少し高まった ③どちらともいえない ④あまり高まらない ⑤高まらない

問9 サロベツ自然再生事業に関する活動に参加したいと思いますか？【一つだけ】

- ①ぜひ参加したい ②都合がつけば参加したい ③あまり参加したくない ④参加したくない ⑤わからない

問10 上記の問9で、あなたがそのように回答した理由はなぜですか？

自由記述（ ）

問11 サロベツ自然再生事業の普及に向けて、どのようなことが必要だと思いますか【複数回答可】

- ①パネルなどのPR ②体験ツアー ③農業者との語らい ④特産品づくり
⑤子ども対象イベント ⑥その他（ ）

■あなたご自身について

問12 あなた自身についてお答えください。

(1) 性別： 男性・女性 (2) 年代：() 歳代 (3) お住まい：() 市町村)

ご協力ありがとうございました

サロベツ環境学習ツアーに関するアンケート

第2回
11/4

本日は、「サロベツ環境学習ツアー」にご参加いただき、ありがとうございます。
今後のサロベツ自然再生の取組や検討にみなさまのご意見を活かしていくため、アンケートにご協力ください。

■「サロベツ環境学習ツアー」について（あてはまるものに○をつけて下さい）

問1 あはたは、本日の「サロベツ環境学習ツアー」について、何で知りましたか？

- ①チラシ・ポスター ②新聞 ③知人・友人から ④メーリングリスト ⑤ホームページ
⑥その他（ ）

問2 本日の「サロベツ環境学習ツアー」で、興味をひいたものは何ですか？

- ①建物跡地の自然再生 ②木道跡地の自然再生 ③湿原の自然や景観（利尻山など） ④ササ前線
⑤その他（ ）

問3 「サロベツ環境学習ツアー」に参加して、サロベツ自然再生事業についてわかりましたか？【一つだけ】

- ①よくわかった ②わかった ③どちらともいえない ④わからなかった

問4 「サロベツ環境学習ツアー」の実施時間はいかがでしたか？【一つだけ】

- ①長い ②やや長い ③ちょうどよい ④やや短い ⑤短い

問5 「サロベツ環境学習ツアー」でのガイドの説明はわかりやすかったですか？【一つだけ】

- ①とてもわかりやすかった ②わかりやすかった ③どちらともいえない ④わかりにくかった

問6 今後もこのような自然再生ツアーがあった場合、参加したいと思いますか？【一つだけ】

- ①ぜひ参加したい ②都合がつけば参加したい ③あまり参加したくない ④参加したくない ⑤わからない

問7 上記の問6で、あなたがそのように回答した理由はなぜですか？

自由記述（ ）

■サロベツ自然再生事業について

問8 サロベツ自然再生事業への関心は高まりましたか？【一つだけ】

- ①高まった ②少し高まった ③どちらともいえない ④あまり高まらない ⑤高まらない

問9 リロベツ自然再生事業に関する活動に参加したいと思いますか？【一つだけ】

- ①ぜひ活動したい ②都合がつけば活動したい ③あまり活動したくない ④活動したくない ⑤わからない

問10 上記の問9で、あなたがそのように回答した理由はなぜですか？

自由記述（ ）

問11 サロベツ自然再生に向けて、どのようなことが必要だと思いますか【複数回答可】

- ①パネルなどのPR ②体験ツアー ③農業者との語らい ④特産品づくり
⑤子ども対象イベント ⑥その他（ ）

■あなたご自身について

問12 あなた自身についてお答えください。

(1) 性別： 男性・女性 (2) 年代：() 歳代 (3) お住まい：() 市町村)
ご協力ありがとうございました

9.3 自然再生エコツアーに関するアンケート

自然再生エコツアーに関するアンケート

10/20
開催

本日は、「自然再生エコツアー」にご参加いただき、ありがとうございます。
今後のサロベツ自然再生の取組や検討にみなさまのご意見を活かしていくため、アンケートにご協力ください。

■「自然再生エコツアー」について（あてはまるものに○をつけて下さい）

問1 あはたは、本日の「自然再生エコツアー」について、何で知りましたか？

- ①チラシ・ポスター ②新聞 ③口コミ ④メーリングリスト ⑤ホームページ ⑥その他（ ）

問2 本日の「自然再生エコツアー」で、興味をひいたものは何ですか？【複数回答可】

- ①泥炭採掘跡地の現状 ②自然再生事業の取り組み ③山本牧場 ④湿原の自然や景観（利尻山など）
⑤その他（ ）

問3 「自然再生エコツアー」に参加して、サロベツ自然再生事業についてわかりましたか？【一つだけ】

- ①よくわかった ②わかった ③どちらともいえない ④わからなかった

問4 「自然再生エコツアー」の実施時間はいかがでしたか？【一つだけ】

- ①長い ②やや長い ③ちょうどよい ④やや短い ⑤短い

問5 「自然再生エコツアー」でのガイドの説明はわかりやすかったです？【一つだけ】

- ①とてもわかりやすかった ②わかりやすかった ③どちらともいえない ④わかりにくかった

問6 今後もこのような自然再生ツアーがあった場合、参加したいと思いますか？【一つだけ】

- ①ぜひ参加したい ②都合がつけば参加したい ③あまり参加したくない ④参加したくない ⑤わからない

問7 上記の問6で、あなたがそのように回答した理由はなぜですか？

自由記述（ ）

問8 ツアー全体を通じて、ご意見・ご感想があればお書きください

自由記述（ ）

■サロベツ自然再生事業について

問9 サロベツ自然再生事業への関心は高まりましたか？【一つだけ】

- ①高まった ②少し高まった ③どちらともいえない ④あまり高まらない ⑤高まらない

問10 サロベツ自然再生事業に関する活動に参加したいと思いますか？【一つだけ】

- ①ぜひ参加したい ②都合がつけば参加したい ③あまり参加したくない ④参加したくない ⑤わからない

問11 上記の問9で、あなたがそのように回答した理由はなぜですか？

自由記述（ ）

問12 サロベツ自然再生事業の普及に向けて、どのようなことが必要だと思いますか【複数回答可】

- ①パネル等でのPR ②体験ツアー ③農業者との語らい ④特産品づくり ⑤子ども対象イベント
⑥その他（ ）

問13 あなた自身についてお答えください。

(1) 性別： 男性・女性 (2) 年代：() 歳代 (3) お住まい：() 市町村)

ご協力ありがとうございました

9.4 エコモーDayに関するアンケート用紙

エコモーDayに関するアンケート

10/20
開催

本日は、「エコモーDay」にご参加いただき、ありがとうございます。
今後のサロベツ自然再生の取組や検討にみなさまのご意見を活かしていくため、アンケートにご協力ください。

あてはまるものに○をつけて下さい

問1 あはたは、本日の「エコモーDay」について、何で知りましたか？【複数回答可】

- ①チラシ・ポスター ②新聞 ③口コミ ④メーリングリスト ⑤ホームページ ⑥ラジオ
⑦その他（ ）

問2 本日の「エコモーDay」で、興味をひいたものは何ですか？【複数回答可】

- ①サロベツを食べよう（豊富牛乳を使ったメニューコンテスト） ②自然再生エコツアー
③エコモー交流会 ④渡瀬船に乗ってみよう ⑤トラクターに乗ってみよう ⑥自然再生を知ろう
⑦その他（ ）

問3 サロベツで自然再生に向けた取り組みが行われていたことはご存知でしたか？【一つだけ】

- ①全く知らなかった ②聞いたことはあった ③だいたい知っていた ④よく知っていた

問4 「エコモーDay」に参加して、サロベツ自然再生事業についてわかりましたか？【一つだけ】

- ①よくわかった ②わかった ③どちらともいえない ④わからなかった

問5 サロベツ自然再生事業について、どのようなことに興味を持ちましたか？【複数回答可】

- ①サロベツ湿原の自然（植物や動物） ②豊富町の農業 ③泥炭の採掘 ④開拓の歴史
⑤農業と湿原の共生 ⑥自然再生の取り組み ⑦その他（ ）

問6 今後もこのようなイベントがあった場合、参加したいと思いますか？【一つだけ】

- ①ぜひ参加したい ②都合がつけば参加したい ③あまり参加したくない ④参加したくない ⑤わからない

問7 上記の問5で、あなたがそのように回答した理由はなぜですか？

自由記述（ ）

問8 自然再生の取り組みをより身近に感じるために、今後どのようなことが必要だと思いますか？【複数回答可】

- ①パネル等でのPR ②体験ツアー ③農業者との語らい ④特産品づくり
⑤子ども対象イベント ⑥研究結果などの報告 ⑦その他（ ）

問9 イベント全体を通じて、ご意見・ご感想があればお書きください

自由記述（ ）

問10 あなた自身についてお答えください。

(1) 性別： 男性・女性 (2) 年代：() 歳代 (3) お住まい：() 市町村)

ご協力ありがとうございました

9.5 サロベツを食べよう！オリジナル料理応募レシピ

サロベツを食べよう！ オリジナル料理レシピ

① 完成写真またはイラスト



② 料理名

牛乳わらびもち

③ 料理の説明（PR）

牛乳を使った和菓子です。牛乳のコクと隠し味の醤油が決め手！ 箕の微かな香りも一緒に楽しめます。

④ 調理時間

30分ほど。（冷ます時間を含め）

⑤ 使用する材料・調味料

白玉粉～150g
グラニュー糖～200g
豊富牛乳～350cc
醤油～大さじ1
きな粉～適量

⑥作り方 (5段階くらいにまとめて記入)	<p>1. きな粉以外の材料をボールに入れよく混ぜラップをして電子レンジで5分ほど加熱します。</p> <p>2. 軽く混ぜ、再度ラップをし5分ほど加熱します。</p> <p>3. たたきつけるように30回ほど混ぜ、つやを出します。</p> <p>4. きな粉の上にかたまりのまま置きます。</p> <p>5. 冷めたらきな粉をまぶしながら切り、笹の葉に載せます。</p>
⑦料理のコツ、おいしさの秘訣	<p>白玉粉と牛乳がダマにならないようによく混ぜ合わせるのがコツ。 おいしさの秘訣は食材の組み合わせと食べやすさにあります。 白玉粉はもち米が原料、そしてきな粉と醤油は大豆が原料です。 米と大豆と牛乳は日本人の口に馴染みのあるもの。それらを組み合わせ、餅風にし食感を優しくしました。</p>
⑧サロベツに対する思いを一言	<p>四季折々、いつも新しい発見を得られるサロベツです。</p>
⑨応募者氏名（あれば所属団体名）	<p>とんこり堂 稲垣順子</p>

サロベツを食べよう！ オリジナル料理レシピ

① 完成写真またはイラスト



②料理名	豊富牛乳しるこ
③料理の説明（PR）	いももちを使用し、豊富牛乳でマイルドに仕上げたお汁粉です。 サロベツ湯原を眺めながらまったりしたい時におすすめ！
④調理時間	30分
⑤使用する材料・調味料	<ul style="list-style-type: none">・じゃがいも・ゆであずき（つぶあん）・豊富牛乳・水・塩・砂糖・でんごん

<p>⑥作り方 (5段階くらいにまとめ て記入)</p>	<p>①じゃがいもを皮むき、ゆでて、でんぶんを混ぜていももちを作る。 ②鍋にゆであずきを入れ、水でのぼす。 ③沸騰したらいももちを入れる。 ④いももちが煮えたら牛乳を入れる。 ⑤味を調えて盛りつけたら完成！</p>
<p>⑦料理のコツ、おいしさ の秘訣</p>	<p>いももちと豊富牛乳でやさしい味に仕上げました。</p>
<p>⑧サロベツ に対する思 いを一言</p>	<p>晴れの日も雨の日もくもりの日もそれぞれの味があるサロベツを楽し んでほしいです</p>
<p>⑨応募者氏 名（あれば所 属団体名）</p>	<p>田中 美佐保（みさたろと愉快な仲間たち）</p>

サロベツを食べよう！ オリジナル料理レシピ

① 完成写真またはイラスト



②料理名	オロロンスムージー
③料理の説明（PR）	豊富牛乳とハマナスジャムを使ったスムージー。 ハマナスのオレンジ色はオロロンラインから見た夕陽をイメージ。 甘さはお好みで調節可能です。
④調理時間	5分
⑤使用する材料・調味料	<ul style="list-style-type: none">・豊富牛乳 200ml・ハマナスジャム（豊富町産） 大スプーン6杯・ヨーグルト（無糖） 100g・蜂蜜 適量

⑥作り方 (5段階くらいにまとめて記入)	① すべての材料をジップつきの袋に入れて冷凍庫で凍らせます。 ② あとは凍らせた材料をジューサーに入れて混ぜるだけ！
⑦料理のコツ、おいしさの秘訣	混ぜ度合いはお好みで！色々試してみてください。 雄大なサロベツ原野・そびえる利尻山を眺めつつ、すっきりさわやかオロロンスムージーを飲んでみてね。
⑧サロベツに対する思いを一言	豊富牛乳ももちろんですが、サロベツは他にもおいしいものが沢山！ 海の恵み、大地の恵み、牛の恵みと様々です！ 四季折々、素晴らしい自然と季節の恵み、あたたかい地元の方々。 サロベツを訪れた皆さん、是非この土地を満喫して帰ってください！
⑨応募者氏名（あれば所属団体名）	斎藤仁美

サロベツの美味しい牛乳料理コンテスト・オリジナルレシピ

①完成写真またはイラスト

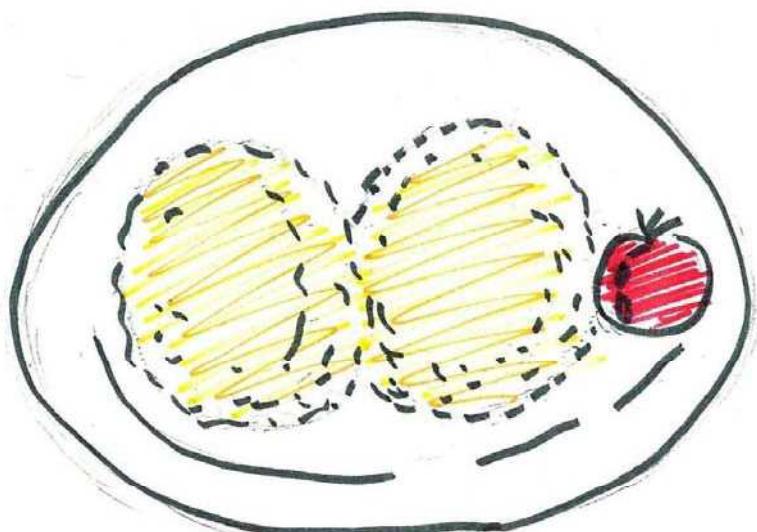


②料理名	フワフワ湿原食感！サロベツ★フレンチトースト
③料理の説明（PR）	サロベツの美味しい牛乳を使った、フワッフワ&ジューシーなフレンチトーストです！卵やパンも地元産にこだわりました♪熱々のフレンチトーストにソフトクリームをトッピングしてもGOOD！！広大な湿原を眺めながら、味わって下さい。
④調理時間	5~10分
⑤使用する材料・調味料	<1~2人前> ・食パン（サロベツマイハートの六つ切り）×2枚 ・豊富牛乳 30~50cc ・卵（上勇知カヤニファーム産）×1個 ・砂糖（北海道の甜菜糖） ×20g ・バター（雪印幌延工場産） お好みで ・メープルシロップやハチミツ お好みで ・アイスやソフトクリーム お好みで ・豊富町産はまなすジャム お好みで

⑥作り方 (5段階くらいにまとめて記入)	<p>①卵、牛乳、砂糖をよく混ぜ、バットに入れる。</p> <p>②食パンを両面約20秒ずつたまご液に浸す。 ※浸す時間はお好みで調節して下さい。</p> <p>③フライパンに油を敷き、中火～強火で焼く</p> <p>④こんがりと焼き色が付いたら裏返し、さらに焼く</p> <p>⑤裏にも焼き色が付いたら皿に盛り、バターを塗って出来上がり！ お好みでメープルシロップ、ハチミツをかけて下さい。</p>
⑦料理のコツ、おいしさの秘訣	<p>たまご液に浸す時間と、焼き加減が重要です。 焦げすぎないように、何度も試してみて下さい。</p>
⑧サロベツに対する思いを一言	<p>サロベツは美味しい食べ物がいっぱいあって幸せです。 サロベツを訪れるたくさんの人にも、ぜひ豊かな大地の恵みを味わって行ってほしいです！</p>
⑨応募者氏名（あれば所属団体名）	<p>嶋崎暁啓</p>

サロベツを食べよう！ オリジナル料理レシピ

① 完成写真またはイラスト

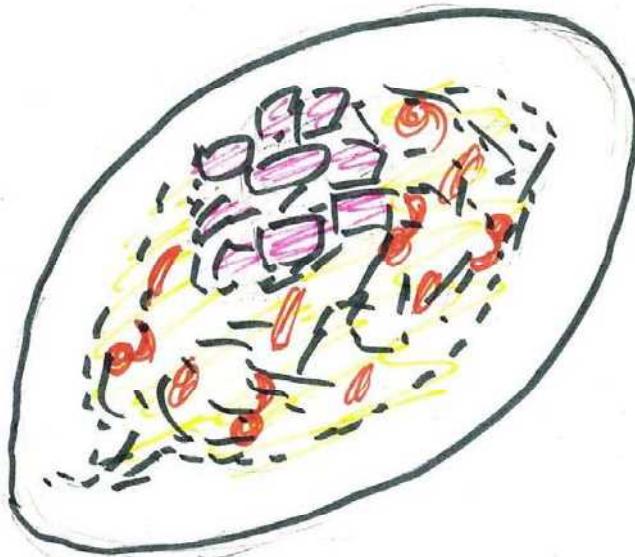


② 料理名	サロベツ系 サクサク カニクリームコロッケ ～北の大地、豊富より～
③ 料理の説明 (PR)	具に卵を入れることで、まろやかさがプラス！ おやつがわりに単品で食べてもよし！！ パスタやカレーのトッピングにもよし！！
④ 調理時間	40分
⑤ 使用する材料・調味料	<ul style="list-style-type: none"> ・カニかま・・・・・・・30g ・玉ねぎ・・・・・・・25g ・マッシュルーム・・・・3個(きのこでもOK) ・ゆで卵・・・・・・・1/2個 ・サラダ油・・・・・・・適量 ・バター・・・・・・・10g ・小麦粉・・・・・・・大さじ2 ・牛乳・・・・・・・カップ1/2 ・塩・・・・・・・適量 ・こしょう・・・・・・・適量 <p>【揚げる用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小麦粉、溶き卵、パン粉、揚げ油・・・適量

⑥作り方 (5段階くらいにまとめ て記入)	<p>1. <切る> 5分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カニはほぐす ・玉ねぎ→薄切り、マッシュルーム・卵→粗いみじん切り <p>2. <炒める> 5分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フライパンに油を熱して、焦がさないように弱火で炒める。 <p>炒める順番</p> <ol style="list-style-type: none"> ①たまねぎ ②(玉ねぎがしんなりいたら)マッシュルーム・カニ ③バター・小麦粉 ④牛乳 ⑤ゆで卵(塩こしょうで味を調える) <p>3. <たねをねかせる> 20分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バットに薄く油を塗って、2を入れ、平らにのばして冷凍庫で15分。 <p>4. <揚げる> 10分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3を3等分し、1個分を手にとって好きな形に整える。 ・小麦粉→溶き卵→パン粉の純に衣を付け、180度の油で揚げる。
⑦料理のコツ、おいしさの秘訣	<ul style="list-style-type: none"> ・玉ねぎは弱火でしんなりするまで炒める。 ・牛乳は少量ずつ入れる。 ・しっかりたねを冷やす。
⑧サロベツに対する思いを一言	<p>私はいつも、自然の宝庫サロベツで、心身ともに癒されています。</p>
⑨応募者氏名（あれば所属団体名）	<p>北海道豊富高等学校ボランティア (バドミントン部1年女子4名 顧問: 佐藤 緑)</p>

サロベツを食べよう！ オリジナル料理レシピ

①完成写真またはイラスト



② 料理名	豊富(ほうふ)なトヨトミルクパスタ ～北の大地、豊富より～
③ 料理の説明 (PR)	ミネラルいっぱいの豊富牛乳で丁度良い味付けになりました。
④ 調理時間	30分
⑤ 使用する材料・調味料	<ul style="list-style-type: none">・スペaghetti ······ 80g・ベーコン ······ 1枚・玉ねぎ ······ 1/4個・しいたけ ······ 1枚・しめじ ······ 1/4パック・ねぎ ······ 1本・バター ······ 10g・小麦粉 ······ 大1/2・牛乳 ······ 150ml・コンソメスープ ····· 1/2個・塩 ······ 適量・こしょう ······ 適量

<p>⑥作り方 (5段階くら いにまとめ て記入)</p>	<p>1 <鍋にお湯を沸かす></p> <p>2 <切る> 5分 ・ベーコン→適当な大きさに 玉ねぎ、しいたけ→薄切り ねぎ→斜め切り</p> <p>3 <スパゲティを茹でる> 10分以内</p> <p>4 <炒める> 10分 ・鍋にバターを熱して炒める。 炒める順番 ① 玉ねぎ ② いたけ、しめじ ③ 小麦粉 ④ 牛乳、コンソメスープ、塩、こしょう 火を弱めて5分煮る。</p> <p>5 <仕上げ> 5分 ・4の中に、ねぎとスパゲティを加えてひと混ぜし、完成。</p>
<p>⑦料理のコ ツ、おいしさ の秘訣</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スパゲティはアルデンテで。 ・安価な具材や旬な具材でアレンジ可能。 ・主食を米にかえ、リゾットにも出来ます。
<p>⑧サロベツ に対する思 いを一言</p>	<p>私はいつも、自然の宝庫サロベツで、心身ともに癒されています。</p>
<p>⑨応募者氏 名（あれば所 属団体名）</p>	<p>北海道豊富高等学校ボランティア (バドミントン部1年女子4名 顧問: 佐藤 緑)</p>

9.6 エコモー交流会資料

(1) 八重沢氏の発表画像



融雪出水時の自宅周辺(昭和 29 年)



融雪期の水害(昭和 30 年)



サロベツ川水害(昭和 30 年代)



出水時の川の様子(昭和 31 年)



土地を高くするために客土(昭和 30 年代)



雪の農耕地(昭和 33 年)



出水の様子(昭和 31 年)



毎年繰り返される水害(昭和 35 年)



融雪にわる水害(昭和 36 年 4 月)



牧草の山(昭和 38 年)



馬での農耕(昭和 39 年)



トラクター導入の頃(昭和 40 年代)

(2) 村元氏資料

サロベツの自然への思い

天北塾 村元 正己

1 サロベツとは

サロベツとは、「葭原の中を川が流れるところ」と言う意味で、西天北原野の一部で天塙川の下流域、天塙町の北部から幌延町、豊富町にまたがる原野を指します。現在は一般的に、豊富町から幌延町にまたがる湿地帯を、サロベツと呼んでいます。1956年から1998年約40年間に、75%の湿原が消失しました。

天北原野とは、北海道開拓時代に留萌から、豊富までの日本海側を天塙の国、網走から稚内までのオホーツク海を、北見の国と呼ばっていました、ここに広がる原野の日本海側を西天北原野、オホーツク海側を東天北原野と呼んでいました。天塙の国と北見の国の交わる處、宗谷地方を天北地方と言います。

現在、サロベツと言われているのは、豊富町の湿原の上サロベツ、幌延町の湿原を下サロベツ（天塙町の一部を含む）を指します。其の湿原の一部が国立公園に指定されています。

2 サロベツ開発の歴史

サロベツ地域への入植は北海道の中で、歴史が浅く明治36年に岐阜団体（团长梅村庄次郎）が、兜沼に入植し明治41年幌延村字沙流村が豊富村に改名、以降大正、昭和の始めに掛けて本州各地から、湿原周辺の台地等、比較的良い土地への入植が始まりました。昭和3年に下エベコロベツ川の切り替えが行われ、西豊富に多くの人たちが入植しました。

サロベツには先住民の居住の痕跡は見られませんが、豊徳台地や砂丘林内および各台地等から、古代人（擦紋文化）の居住、竪穴住居跡や土器石器等及び、墓地が発掘されています。（昭和32年調査）豊富開基100年記念式が平成14年に行われました。

昭和20年の大戦敗戦により、満州（中国）や樺太（サハリン）から引き上げ者が、新たに湿原周辺の低位泥炭地や、稚咲内地区に入植し泥炭地の開墾、洪水との戦いが始まりました。戦後サロベツ湿原は、開発最優先の時代に入りました。

入植当時から昭和30年前まで、イモなどの畑作が中心で町にも澱粉工場が幾つも出来ましたが、昭和30年頃を境に酪農中心の農業に変わりました。

昭和40年にはサロベツ川のショートカットと、サロベツ湿原の開発と湿原の乾燥化が進行してきました。

3 利尻礼文サロベツ国立公園指定までの思い出

開発中心の時代には、サロベツ湿原の保全などはほとんどない話でした。私が昭和34年に転勤で豊富町（信金）に赴任し、始めてサロベツ原野の開発の話を伺ったときの話は、サロベツ川の切り替えだけでは、原野の水は抜けないから、オランダの様に風車を並べて、水を汲みだし、日本海に放水すると言う壮大な話でした。「サロベツ地域開発着手の実態調査」が行われていました。稚咲内海浜や砂丘林は開発対象外でしたので、昭和40年「利尻礼文国定公園」に指定されました。湿原地帯で昭和30年代にはミズゴケやタチマニネンスグが、採取されていました。

昭和36年11月サロベツの自然に引かれ、職を変えて豊富に定住を決意し商工会に就職、昭和38年から観光協会事務局長を兼任、直接サロベツ湿原の保全と観光地化を目指すことを考え、昭和40年から観光資源として、サロベツ湿原の保護と観光客の誘致のため、豊富観光協会では、東日本フェリーのご協力とご支援を受け、駒泊港と香深港に「サロベツの誘致看板」を立て、昭和43年から港から貸し切りバスを仕立てて、観光客を呼び込みサロベツ湿原をガイドし、温泉にお客さんを案内しました。

昭和42年に開発局から「サロベツ開発総合調査報告書」が発行され、私はサロベツのバイブルとして、参考にしています。私はこの頃開発一辺倒の町の有力者などから、とんでもないことを言う奴だと言わっていました。

昭和49年9月20日「利尻礼文サロベツ国立公園」が誕生するまで、サロベツ川の切

替え問題は、継続審議として残されていました。

4 サロベツ湿原の概要特徴

サロベツ湿原は、西天北原野の一部で北の兜沼から南の天塩川まで、南北約27Km東の豊富山地から西の豊徳台地、砂丘林まで5Kmから8Kmの南北に細長い面積2,300haをサロベツ原野と報告されていますが、其のうち低層湿原は約9,000ha、中層湿原は約3,700ha、高層湿原は僅か約1,900haです。其のうち国立公園に指定されているのは、1,360haだけです。

湿原は年間1mmの成長が見られます。サロベツの泥炭の深さは、4mから7mあります。つまり湿原は4千年、処によつては7千年前から始まつたと考えられます。

今サロベツでは、湿原への籠の進入と乾燥化が、大きな問題となり同時に、周辺の牧草地の水位低下を図る、自然再生と酪農の安定化のために、上サロベツ自然再生事業が、平成17年から始まりました。

サロベツ湿原



サロベツ湿原の大きな特徴として、サロベツ湿原の高層湿原は、平地では日本一の大きさです。同時に瞳沼の浮き島も動く浮き島として日本一の大きさです。釧路湿原と最大の違いは、釧路湿原には湿原の中に、釧路川が蛇行していますが、サロベツ湿原の中には大きな川が無いことです。其のため高層湿原が発達し、良質なビートが生成されました。昭和45年から円山に、三井東圧化学ビート工場が建設され、良質な泥炭からビート製品の生産がはじまり、平成14年三井東圧ケミカルサロベツ工場（社名変更）が閉鎖、平成23年4月跡地に湿原センターがオープンしました。

5 瞳沼の誕生とベンケ沼の消滅危機

ベンケ沼への下エベコロベツ川や福永川（旧上エベコロベツ川）の切り替えで、ベンケ沼への土砂の流入で沼の消滅の心配と、流入した土砂の堆積に、湿地溝の流れが堰き止められ、昭和50年頃に瞳沼が誕生したものと思われます。

私が昭和37年に最初に見たベンケ沼と、平成17年にみたベンケ沼とは大きく違ひ驚きました。

ベンケ沼



土砂の流入で消失の危機にあるベンケ沼、水の流れるところ以外の水位が20cm位に土砂がて堆積しています。

サロベツ原野に点在する沼の特徴として、どの沼にも流入する河川はありませんでしたが、周辺の開拓のために河川の切替などで、農地の排水なども含めて沼に河川の流入を図りました、そのため沼の生態や形態が大きく変化してきました。兜沼は兜沼川浚渫による排水で以前の3分の1程度になり、ヘドロの堆積で浅くなりました。

ベンケ沼は2分されエベユロベツ川の落ち口が変わり、土砂の流入で川の流れを残して20cm程度の深さになりました。平成7~8年頃まで漁をしている人がいましたが、今は出来る状態にはありません。

サロベツ原野誕生から7000年後の今になって、突然現れた瞳沼の周辺には幾つもの亀裂が走っています、やがて大きな新しい沼と、幾つかの浮島が誕生するものと予測されます。新しいベンケ沼の出現です、同時に今のベンケ沼は川の流れだけを残して、葭原を残して消滅するものと思います。

新しい葭原は、新しいタンチヨウの営巣地となるかもしれません。

瞳沼の浮島

エベユロベツ川からベンケ沼への土砂の流入で沼の周囲に土手が出来、湿地溝が堰き止められ、湛水池が大きくなり瞳沼が誕生したと思われます。



泥炭採掘跡

浚渫船で採掘泥炭採掘跡開水池



6 濡原保全は地球温暖化防止に繋がる

湿原の保全乾燥化防止は、地球温暖化防止に繋がります。湿原に眠る泥炭とは枯れた植物が、分解されずに堆積したものです。つまり泥炭の中には植物が取り込んだCO₂が、分解されずにそのまま、4~7千年間眠っているのです。湿原が乾燥し泥炭が分解されると、眠っていたCO₂が放出され地球温暖化に繋がります。湿原保全は単に自然景観や、動植物を守ることだけでなく、地球温暖化防止にも繋がることなのです。

7 稚咲内砂丘林（砂丘原生林湖沼群）

私が最初に砂丘林に出会ったのは、昭和36年に友人に誘われて砂丘林内の沼にフナ釣に行つたのが始まりです。年2~3箇所の沼に行き、沼により金色のフナ（金鮎）や、銀色のフナ（銀鮎）が釣れました、色の違いは水質の違いと思いました。今はその沼の場所の記憶はありません。

昭和38年に稚咲内最北の離農農家跡から、砂丘林を渡り豊徳小学校への通学路になつていた、林間道の長沼に1本橋が架かっていました。今は農家跡も無く橋は朽ち落ちクイのみが残っています。冬のスキー、アニマルトラッキングでクイを発見し、その後スキー観察会の昼食場所の目安としています。

昭和38年に豊富に義宮様が訪れ、砂丘林に入られて興味津々、景観に魅せられ戻るのを忘れ、予定時間を大幅にオーバーし、周りが大変だったと関係者から話を聽きました。宮様が砂丘林を訪れたことは、殆んどの人は知りません。徳満の展望台が、宮ノ台の名前が付いているぐらいだと思います。

私も其の頃から何度も同じ所に、入林していましたが、ある秋の晴れた日、林内で頭上の空が暗くなるほどの、シジユウガラの大群の乱舞に見舞われ、背筋が寒くなる思いをしました。其の後はそんな事はありませんが、テンヤリス、キツネ、シカ、クマゲラなどの動物に何度も出会いました。

昭和40年に砂丘林は「利尻礼文国定公園」に指定されました。其の頃に豊田から砂丘林に入りました、林道も無く第1砂丘帯を越えた所に、沼は無くミズゴケ一面の高層湿原でした。砂丘林の多様性を感じました、今は其の場所は記憶がありません。

平成5年ジンサイ沼や、砂丘内の竪穴住居跡と石器や土器の出土品などの探索もしました。今は竪穴の観察は難しいと思います。豊徳台地や砂丘林内には、古代人（縄文人、擦紋人）の遺跡（豊里遺跡）が、幌延（下サロベツ）に掛けて数多くあります。

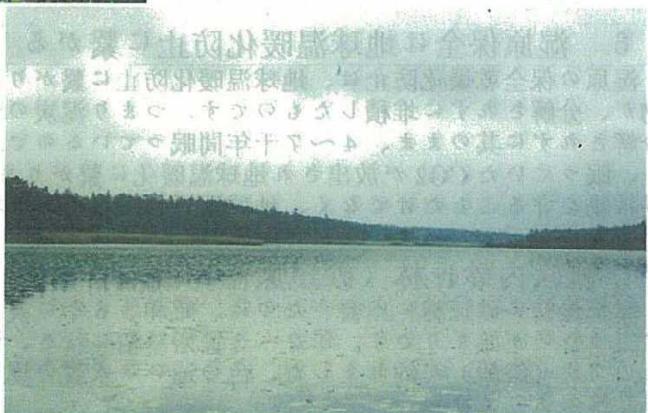
昭和42年サロベツ総合開発調査報告書が発行されました。其中に砂丘林に付いても記述されて、基礎的な知識を学びました。日本海沿いに南北約40Km、幅は東西約1.5Kmから2Kmで3列から6列の砂丘帯からなり、南の幌延浜里地区（南エリア）、稚咲内からの豊徳台地の背後の中央砂丘地区（中央エリア）、台地の北部豊里から稚内地区（北エリア）それぞれに砂丘列、林相や湖沼群の景観が違います。自分で各エリアに入り実感しました。

昭和60年代に入り、自然学校の子供たちや、国鉄（JR）自然の村の子供たち（主に関東の子供たち）と共に、砂丘林内でオリエンテーションなどで、観察会を開催しました。その後も毎年開催しました。冬のスキー観察会も昭和62年2月に、毎年自然学校が始めました。その後数多くのスキー観察会が開催されました。最近は開催されていません。

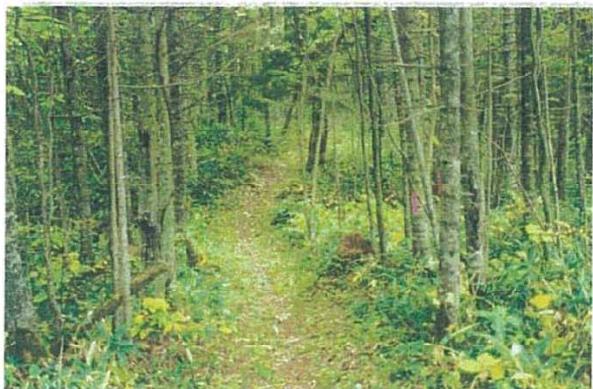


99年 倒木更新林高3m

84年発見時樹高30cm程度
現在3~4m



カヌーの上から見たジンサイ沼



砂丘の林道

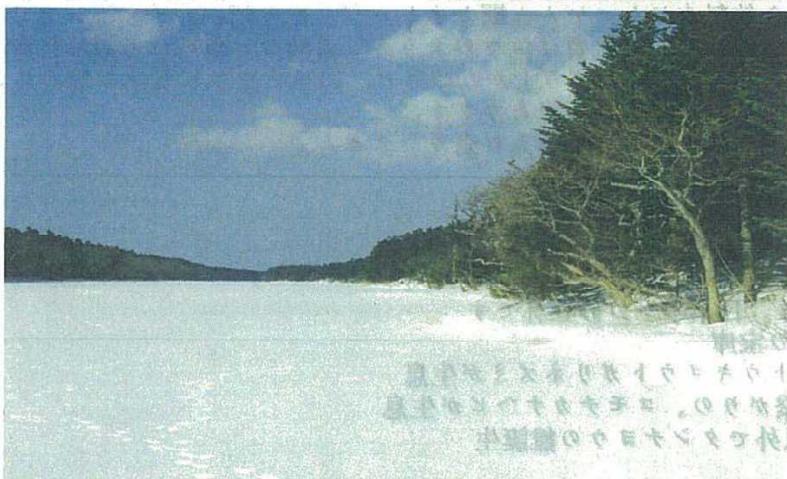
平成7年に干上がった砂丘内沼の、観察会（水の涸れた沼のコウホネ）を行いましたところ、蚊の大群に襲わあれその後、6月以降夏の入林を原則停止しました。

この頃に砂丘内沼の、水位の低下が顕著に見られ、蚊の大量発生と関連していると、素人が考えました。水位の低下によりボウフラを餌にする、魚類が死滅し大量発生に繋がったと考えました。以前は夏でも子供たちと共に入林していましたが、蚊の大群に襲われたことは、ありませんでした。

95年干上がった沼観察
コウホネの花観察

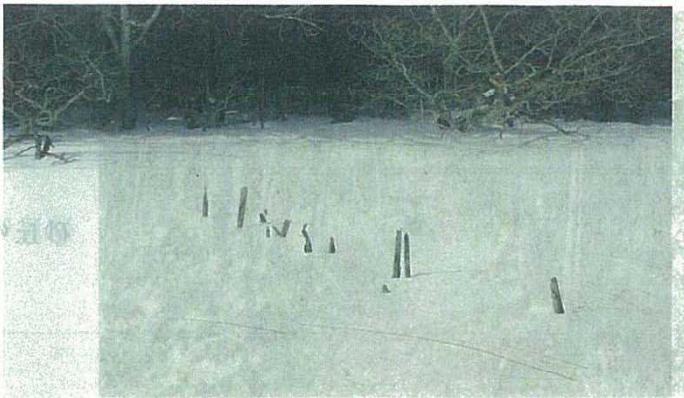


冬の砂丘林



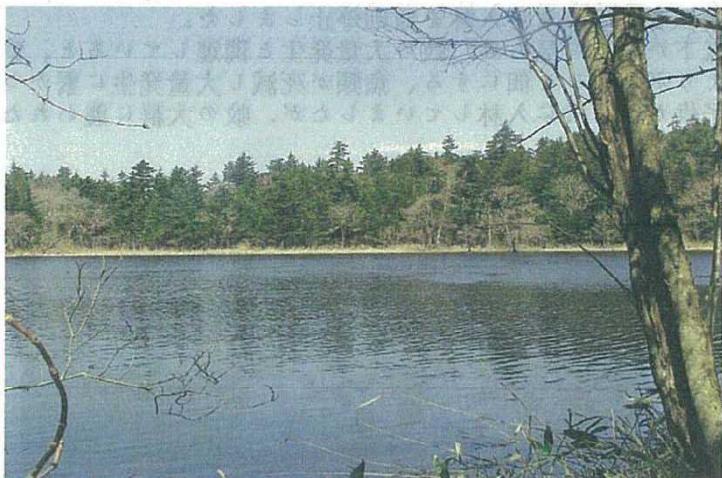
沼からの眺め

昔は沼の数は108個あると聞いていましたが、平成21年のサロベツ学会談話会で、立木先生の報告で、1947年に241の沼が確認され、2005年には177に減少したことが発表されました。



1本橋跡の杭

通学路の長沼に架かっていた、
1本橋の杭です



水鳥が集う沼

日本で始めてミコアイサの繁殖が
確認されました

私も長年の間に沼の水位の低下、湿地化草原化を見聞してきました。稚咲内に水道が引かれるまで、沼から水を引き飲料水にしていたと聞きましたが、どの沼かわからないとのことでした。確かに私の実感から、沼の水質は色々のようで、昔釣った鮎の色の違いで想像されます 春夏秋は林道から観察、冬は沼の上から観察と、四季を通じて変化に富んだ、景観や樹木、花などを、観察が出来る面白さがあります。

地元の人たちは、今でも砂丘林に关心を持つ人は余りいません。

8 サロベツは自然の宝庫

- 1 サロベツ高層湿原は、平地では日本一の湿原です
- 2 瞳沼の浮島は、動く浮島として日本一の浮島です
- 3 稚咲内原生林湖沼群は、日本唯一の砂丘林です
- 4 レットデーター植物の宝庫
- 5 世界最小の哺乳類、トウキヨウトガリネズミが生息
- 6 ユーラシア大陸との繋がりの、コモチカナヘビが生息
- 7 100年振りに、釧路以外でタンチョウの雛誕生

9 ラムサール条約登録湿地

平成17年浜頓別のクツチャロ湖に続き、宗谷管内2か所目の登録湿地となりました。ベンケ沼を中心に渡るオオヒシクイを始め、多くの渡り鳥の中継地となっています。ただレ登録地は「サロベツ湿原」ではなく、「サロベツ原野」となっています。
サロベツ原野は北の兜沼から、南の天塩川河畔（西振老）まで入ります。



オオヒシクイの群れ



タンチョウ若いつがい



オオハクチョウ幼鳥

サロベツでは春にコハクチョウの群れが観察されますが、秋にオオハクチョウは珍しいと思います。

幼鳥2羽だけは驚きです。

10 上サロベツ自然再生協議会の設立

サロベツの自然保全と、酪農業の安定化を図るために、平成17年「サロベツ自然再生協議会」を設立し、自然再生事業に取り組んでいます。

9.7 新聞記事等

2012.9.25 道新 22面記事

自然再生事業 成果を見よう

豊富 30日に学習ツア

【豊富】環境省など
がサロベツ湿原で取り
組んでいる上サロベツ
自然再生事業の進行状
況や成果を見学する

「サロベツ環境学習ツ
ア」が30日に初めて
行われる。通常は立ち
入りることのできない場
所で、11月まで毎月1

30日は午前9時半に
同センターに集合。荒
天時は10月6日に延期
される。参加費は無料で
定員は15人。2回目の
ツアは10月20日に泥
炭採掘跡地見学、3回
目は11月4日に旧原生
花園見学が予定されて
いる。申し込み、問い合わせは同センターへ。

（大崎哲也）
0162・82・32
32へ。

回実施される予定だ。
1回目の30日はサロ
ベツ湿原センターから
2・5キロほど離れた落
合沼を同センターの方
イドと一緒に見学す
る。落合沼は、サロベ
ツ川の氾濫防止を目的
に1966年に完成し
たサロベツ放水路の影
響で乾燥化。その後、
地に湛水域が作られ、
沼が復活した。

1回目の30日はサロ
ベツ湿原センターから
2・5キロほど離れた落
合沼を同センターの方
イドと一緒に見学す

2012.10.5 日刊宗谷 1面記事

湿原を守ろう

サロベツエコモー交流会も

環境省稚内自然保護官事務所では、20日午前9時30分からサロベツ湿原センター「レストハウスサロベツ」を会場に、「サロベツエコモード」を開催。自然再生への取り組みを身近に感じてもらおうと参加を呼びかけている。

この催しは、豊富町とNPO法人サロベツ・エコネットワークが共催。サロベツ湿原は低地において国内で最も広い高層湿原を有しており、ラムサール条約にも登録されるサロベツエコモードのなかで、「国営農業農村整備事業パネル展」を開催する。

この催しは環境省稚内自然保護官事務所が主催。

2012.11.18 日刊宗谷 1面記事

農業と湿原共生

豊富町で事業パネル展

稚内開催では、20日午前9時30分から、豊富町サロベツ湿原センター「レストハウス」を会場に行われるサロベツエコモードのなかで、「国営農業農村整備事業パネル展」を開催する。

この催しは環境省稚内自然保護官事務所が主催。

「サロベツ湿原は低地において国内で最も広い高層湿原を有しており、ラムサール条約にも登録されると同時に、沼原地に起因して機能が低下している農用地や農業排水路の機能回復を図る国営

のため、農林水産業の生産活動に関わりのある地域住民が主体となった地域づくりも仄く発信し、波及させることが目的とした、「わが村は美しく北海道」運動第6回コンクール稚内ブロック参画団体も紹介する。

このほか、来場者が実際に触れることができる泥炭土の実物も用意し、事業や自然環境について理解を深めてもらうよう

まだ、農山漁村の振興を通じて知ってもらいたい。

湿原と農地の共生知る

エコモーDay

【報道】サロベツの自然と農業を溝開する「サロベツリバーワーク」が20日サロベツ湿原センターとシェトハウス・サロベツで開かれた。県農省主催。豊富町とJRの法人サロベツ・エコネットワークの主催。低地に沿うる日本で最も広い高層湿原で、ラムサール条約にも登録されていぬサロベツ湿原。この湿原が取り組まれている湿原と農業の共生を目指した自然再生事業に同心槌打で立ち会ひと企画した。基盤産業の畜産で生産される豊富は乳を使つた



牛乳を使った料理を試食する参加者

牛乳メニュー・コンテストも

自然再生の難しさ

宗谷郡部版

支局所在地
浜頓別支局
TEL 0152-2-2147
枝幸支局
TEL 0153-52-1771
豊富支局
TEL 0152-62-2202
利尻支局
TEL 0133-34-2077

25日協会長杯ミニ
バーネーボール
【祝文】協会長杯ソフ
ミニバレー大会は25日午
前

前の晩から、煙草ホームページ
で語り合
田舎から愛好者が集
優勝回数にして熱戦を展開

(総説)

農林相談室と農業地区の菜の共生を見る自然再生牧場を見学して湿原を鑑賞。エコツアー。サロベツの自然と農業を守るために活動する八重澤義さん、村田正己さんの2人から野菜と自然の魅力を聞く立派な交流会に近隣から多くの人が参加した。特に、豊富商の生徒や姉妹、札幌の人が豊富牛乳を使用して考案したメニューコンテストは、なかなかの人気。ミルクスター、カニクリームコロッケ、当園をへれたば乳しづめ、牛乳わらびもたらだい品が並び、味と食感を競食。投票の結果、豊富高生徒が考案した「サロベツ系・サクサクカニクリームコロッケ」が1位に輝いた。

また園外では、普段見られない展示用の波瀾船やトラクターの運転席に試乗する参加者もいて、自然保護と開拓の歴史、そして共生を発表する再生



NHK 放映画像の一部 (2012. 10. 20 18:45 からの全道版ニュース)

9.8 アドバイザーの意見聞き取り

アドバイザーの助言聴取

件名	平成24年度サロベツ自然再生事業推進業務		整理番号	
出席者	アドバイザー	岡田 操 氏	日時	平成25年3月5~6日
	受注者側	角本	場所	湿原センター会議室他
			打合方式	現地視察及び会議

「サロベツの湿原と農業の共生をテーマとしたイベント」(サロベツエコモード)の実施現場の観察および関係資料を用いた実施内容、成果の説明を行い、今後のサロベツエコモードおよび環境学習ツアーの改善点等について助言を頂いた。

〈普及活動全般について〉

- ・今後とも、環境学習ツアーやエコモード等のイベントの継続開催は、上サロベツの自然再生事業の普及にとって重要であると考える。
- ・事業を「知ってもらい」、「理解をしてもらい」さらに「地元の活動」へと発展させていくことが継続において肝要であると思う。
- ・将来的には、地元の既存団体の活動や発表等の自主的な活動の「場」として湿原センターを活用してもらい、環境省は自主的な活動を補助する立場となることが好ましいと考える。
- ・その為に重要なのは、指導的な活動を行う「キーマン」と「始動のタイミング」である。
- ・既に「キーマン」となる人物は存在すると思う。
- ・地元の団体が中心になって活動すれば、地元の方々も自然と集まってくることが期待できる。

〈環境学習ツアーについて〉

- ・環境学習ツアーやエコモード等のイベントは、参加者の安全と湿原への負荷増大などの影響に考慮して、今回のように説明・誘導員による形式が好ましい。
- ・可能であれば、天候や動植物の活動等に配慮すると6~9月に2回程度のイベント開催が望まれる。

〈サロベツエコモードについて〉

- ・今回、「地元の食材(豊富牛乳)」に係るイベントが開催されたことは、故辻井先生が提案されていたことでもあり、実現できた事は大変に嬉しい。
- ・地元のお年寄りに聞き取りを行えば、サロベツならではの食材はもっと見つかるのではないかと思う。
- ・例えば、アイヌ民族はエゾツツジのハーブ茶を好むと聞いたことがあるし、ヤチヤナギの葉を乾燥させてホップと一緒にビール製造に用いることもあると聞いた覚えがある。また、ツルコケモモをアイスクリームのトッピングに用いる、ソフトクリームに混ぜるなど、地元でしか味わえない食探しは地元の活動として馴染みやすいのではないか。
- ・出来れば、地元ならではの食材をレストランで提供できると良いのではないか。集客につながると思う。訪問者の一部でも湿原センターに寄ってもらえば、普及活動の一助になるのではないか。

〈その他〉

- ・以前の原生花園のレストランは地元の方々が集まる場所であったように記憶している。現在のレストランか湿原センターがそのような場所になってもらえば、地元ならではの話が聞けることで観光客も喜び、集客につながると思う。
- ・湿原センター脇に展示されている漁船は、最初は石狩川の漁港に活躍し、その後に天塩川、サロベツ放水路の漁港に活躍した後に三井東庄に払い下げられた船であり、北海道開拓の歴史上からも重要な船である事を知ってもらえると良いのではないか。

以上

リサイクル適正の表示:紙へリサイクル可

本冊子は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準に従い、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料「A ランク」のみを用いて作成しています。